

たをいだけて風雲は未だ至市  
を去れしつある現に隊部の殆ど  
全部を奪取せられた勢友會本部に  
在つては新に東京より出張したる  
本社 加藤十君を會長  
長代理として編置し其選動を繼  
續しつよある由である。健四氏が  
交々口を開いて語る所に依れば入  
りて、直截の要道は驚くば  
かりて、新に勢友會本部の周圍  
には、巡査者三四十名、兵  
十名、警士一隊が本部内に入る  
職工は否無く之を拘引しつよあ  
るといふけれども  
職工等の氣勢と解と  
は、奪取する事無く、威嚇に  
運動を續けしつよあるとある  
今迄の争中特に風雲があつたの  
は、隊部の水を開けるために雇工  
の職工を起し猛烈に威嚇する

し一人に、兵の三人を附  
け、たしきに至つては銃に弾を  
發して之を擲した。現に隊内  
を疾駆する機關車の中には一隊に  
就き三名の  
巡査が 付き添つて警  
してゐるさうだ。其外職工の生活様  
態の變に就て一々實證を擧げた  
後、之として其不平を説いた。斯  
くて勢友會は働く迄勢友會十時  
間、材料二種、(材料は勢友全  
九千人平均四十七圓)の當初の  
隊が買取しなければ如何なる隊  
迫りとなり、素志を翻すとはな  
い、又本隊の  
真相に 就ては種々世間  
に説かれる風説の傳はれるもの多き  
爲め、日中之を印刷して小冊子と  
して天下に頒布する計畫ださうで  
ある